

石炭灰配合コンクリートに適した 「高性能混和剤」の公募結果を発表します

～「高性能混和剤」の公募について～

8月3日に発足の「コンクリート二次製品への石炭灰活用検討委員会」では、産業廃棄物である石炭灰を有効利用したコンクリート製品の実現に向けた検討を進めています。

この中で、コンクリート混和剤が品質、コスト等に重要な影響を及ぼすため、石炭灰を配合したコンクリートに適した高性能混和剤の公募を10月1日～21日の期間で行ったところ、応募期間に5社（うち1団体）より応募がありました。

各社より提出された配合資料により、性能・コスト等を審査のうえ、高性能混和剤として2社を選定しました。

要求性能：公募における要求性能は以下のとおり。

- ・石炭灰を 50L/m³以上混和した二次製品用コンクリートにおいて、硬化までに適切な量の空気連行が可能であること。
（コンクリート練混ぜ直後から30分経過後も5%程度の空気量が確保でき、かつ、空気量の低下が1.5%以下であること）
- ・生コンクリートの打設に適切なスランプが確保でき、ワーカビリティが良好であること。
- ・石炭灰を混和しない通常のコンクリートの混和剤と比較して、大幅なコスト増加とならないこと。

審査結果：提出された資料を以下の項目をもとに、総合判断のうえ2社を高性能混和剤として選定しました。

- ・空気量の確保状況、コンクリートの流動性、コンクリートの強度、コンクリート1m³あたりの混和剤の価格等。

〈発表記者会：酒田記者クラブ、山形建設業界専門紙〉

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所 〒998-0011 酒田市上安町1-2-1 電話 (0234) 27-3331(代表)	
副所長 (道路担当)	ほり 堀 喜代志 (内線205)
防災課 専門職	どい 土肥 孝俊 (内線280)